

虫寄生、④条虫寄生、そして⑤節足動物寄生の事例を提示します。
第5章は、性感染症についてです。みなさんの生活に直結していることでもありますし、この章がいちばん教訓的かもしれませんが。

この本では、日々病理標本を観察している病理医だからこそ出あえた多くの事例の中から、ストーリー性が高く、読者のみなさんの教訓となるものをえりすぐりました。読者の方々に、本書を楽しく読んでいただけることを心より祈っています。

2020年4月

堤 寛

感染症大全

病理医だけが知っているウイルス・細菌・寄生虫のはなし

目次

はじめに

001

第1部 病理医がのぞいた感染症の世界

第1章 ヒトvs感染症の歴史秘話

013

新型コロナウイルスの世界的流行でわかったこと

014

メディアの報道や政局が被害を大きくも小さくもする

019

消毒の父、ゼンメルワイスの悲劇

024

▼コラム 正しい手洗いの実践と手洗い歌

030

病理学者、初のノーベル賞への道のり

034

みえなかつたピロリ菌

036

▼コラム 世界保健機関(WHO)のロコモークのへビの謎

038

1964年の東京オリンピックと感染症	040
赤痢菌やコレラ菌はなぜ先進諸国で弱毒化しているのか	042
ノーベル賞受賞の特効薬、イベルメクチンの発見	045
エボラ出血熱に挑む医療者の勇気と現実	049
エボラ出血熱患者が日本の私立病院に入院したら	051
▼コラム 日本最初の院内感染	054

第2章 病原体・感染症Q&A

055

病原体と感染症を正しく理解するために	056
Q 病原体とは何ですか？ 人体にどのような影響を及ぼすのですか？	057
Q 人体に棲んでいる菌にはどのようなものがありますか？ その影響は？	060
Q 感染症はどのようにして人にうつるのですか？	064
▼コラム 飛沫感染と空気感染の違い	069
Q 潜伏期間ってどういうこと？	070
Q ペットからうつる感染症はあるのですか？	072
Q 世界的にみた場合、感染症の状況はどうなっているのでしょうか？	076
Q 感染症と伝染病の違いは何でしょうか？	079

Q 「バンデミック」とはどういう意味ですか？	082
Q がんも感染症と聞きましたが、本当でしょうか？	083
Q 感染症の診断は、どのように行なわれるのでしょうか？	085
Q 感染症を特定するために使われる顕微鏡診断とは？	089
▼コラム レーベンフックの顕微鏡	092
Q よく耳にするワクチンとは、感染症の特効薬みたいなものですか？	093
Q 感染症の治療はどのように行なわれるのでしょうか？	096
▼コラム 歴史に残るポリオワクチン導入大作戦	099

第2部 病理標本が語る感染症ストーリー

第3章 日常に潜むウイルス、細菌、カビの巻

101

1 インフルエンザウイルス	102
2 日本紅斑熱リケッチア(リケッチア・ジャポニカ)	109
▼コラム 日本紅斑熱を発見した開業医、馬原文彦先生	113
3 ミュータンス菌	114

4	サルモネラ	117
	▼コラム 平安時代の人々も悩まされたサルモネラ	120
5	肺好性レジオネラ(レジオネラ・ニューモフィラ)	121
6	人喰いバクテリア症① 溶血性レンサ球菌	126
7	人喰いバクテリア症② ビブリオ・ブルニフィカス	130
8	常在菌による壊死性筋膜炎	133
9	ガス壊疽菌	137
10	ジフテリア菌	141
11	髄膜炎菌	146
12	結核菌	151
13	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	156
14	トリコフィトン・トンスランズ(白癬菌)	160
	▼コラム スリッパからの院内感染に注意!	164

第4章 寄生虫症の恐怖の巻

1	原虫類① アカントアメーバ	166
2	原虫類② クリプトスポリジウム・バルウム	170
3	原虫類③ リーシュマニア・ドノヴァニ	174
4	原虫類④ 皮膚リーシュマニア原虫	177
5	原虫類⑤ 熱帯熱マラリア原虫	180
	▼コラム パナマ地峡開発によるマラリアと黄熱病の犠牲者	185
6	線虫類① アニサキス幼虫	187
7	線虫類② 旋尾線虫の幼虫	192
8	線虫類③ 回虫	196
9	線虫類④ 蟯虫	201
10	線虫類⑤ 糞線虫	206
	▼コラム 糞線虫症の特効薬	211
11	線虫類⑥ 非病原性線虫の幼虫	212
12	線虫類⑦ 広東住血線虫	213
13	線虫類⑧ 顎口虫	220
14	線虫類⑨ 動物性回旋糸状虫(オンコセルカ)	225
15	線虫類⑩ イヌ糸状虫(イヌフィラリア)	229
16	吸虫類① 肝蛭	232
17	吸虫類② 横川吸虫	235
18	吸虫類③ ビルハルツ住血吸虫	238
	▼コラム 住血吸虫対策の裏表	243

第5章 驚きの性感染症の巻

1	子宮腔部の細胞診標本	298
2	ガードナー菌	302
3	カンジダ・アルビカンス	305
4	腔トリコモナス(トリコモナス原虫)	308
5	歯肉アメーバと放線菌	311
6	淋菌	315
	▼コラム 淋病(gonorrhea)の語源	319
7	クラミジア・トラコマチス①	320
	▼コラム コンドームの歴史	325
8	クラミジア・トラコマチス②	327
9	単純ヘルペスウイルス	330
10	B型肝炎ウイルス	334
11	梅毒トレポネーマ①	339
12	梅毒トレポネーマ②	342
13	軟性下疳菌(デククレイ菌)	345
14	がん原性粘膜炎型ヒトパピローマウイルス	347

19	吸虫類④ トリ住血吸虫の幼虫(セルカリア)	246
20	吸虫類⑤ 宮崎肺吸虫	250
21	条虫類① 日本海裂頭条虫(サナダムシ)	254
22	条虫類② マンソン孤虫	259
23	条虫類③ 有鉤囊虫(有鉤条虫の幼虫)	263
24	条虫類④ エキノコックス(多包条虫)	266
	▼コラム 礼文島から撲滅されたエキノコックス症	269
25	節足動物① ゾエア(エビヤカニの幼生)	271
	▼コラム サーフアーヤダイバーに多い納豆アレルギー	274
26	節足動物② ニキビダニ(毛包虫)	275
27	節足動物③ チリダニ	278
28	節足動物④ 疥癬虫(ヒゼンダニ)角化型疥癬	281
	▼コラム 歴史を変えた疥癬の話	284
29	節足動物⑤ アタマジラミ(虱)	286
30	節足動物⑥ ウジ虫(ハエの幼虫)	290
31	節足動物⑦ オオチョウバエの幼虫	293
	▼コラム 尿にみつかったヒルガタワムシの謎	296

15	良性粘膜型ヒトパピローマウイルス	350
16	伝染性軟属腫ウイルス	354
17	疥癬虫(ヒゼンダニ)	357
18	ケジラミ	359
19	エイズウイルスとトキソプラズマ・コンディ	362
20	赤痢アメーバ	366
21	常在性細菌による陰部壊疽 フルニエ壊疽	370
22	子宮内膜の生検標本	373
	▼コラム 江戸時代の腎虚は勃起障害のこと	375
	あとがき	377
	索引	383

※本書に掲載している新型コロナウイルスに関する記述は、2020年4月6日現在のデータを元にしています。

第1部 病理医がのぞいた感染症の世界

第1章

ヒトvs感染症の
歴史秘話

細菌の発見から
新型コロナウイルスの
パンデミックまで、
人と感染症にまつわる
歴史のエピソードを
紹介します。